

箕面都市開発株式会社

令和2年度 令和3年度

決算・予算

〔速報版〕

令和3年6月

箕面都市開発株式会社

令和2年度決算の概要

1 令和2年度予算と決算を比較すると

- 営業利益、経常利益、当期純利益とも、**予算を上回り、経営は順調**です。

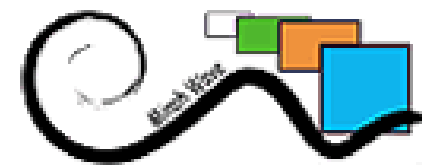
2 調停条項と比較すると

- 期末資金残高について、**調停条項の想定推移を大きく上回り**ました。
- 純資産額については、平成24年度に債務超過を解消し、繰延税金資産^(※1)を除いても、**大幅に増加**しています。
- いずれの利益(営業利益・経常利益、当期純利益)においても、**調停条項を大幅に上回り**ました。

(※1):繰延税金資産とは…将来の会計期間に帰属すべき税金費用(損金)を当期に前払いしたと考え、これを繰り延べ処理することにより生じる資産のことをいいます。

3 今後の展望

- 受託料収入の増収に伴い、引き続き**調停条項を上回る順調な経営**となっています。
- 引き続き、**キャッシュフロー安定化のための経営努力**を行います。



萬面都市開発株式会社

令和2年度

決算

1. 令和2年度決算

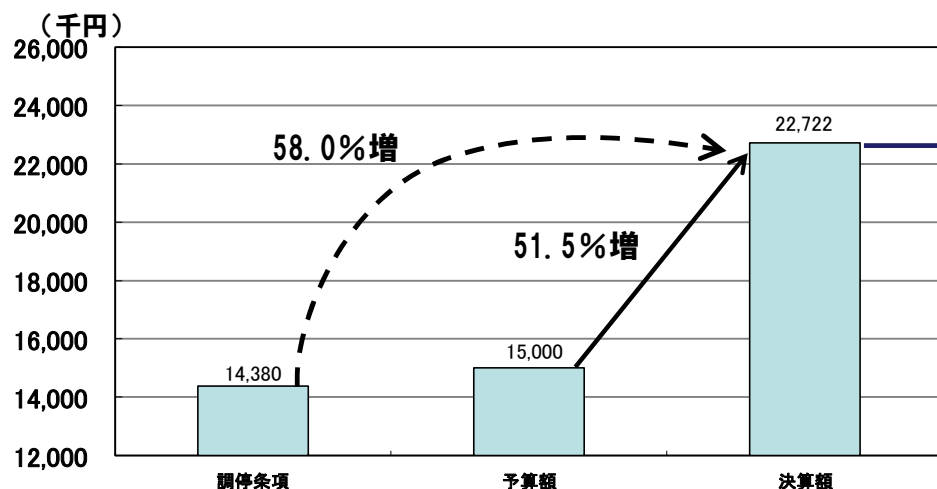
(単位:千円・%)

	令和2年度実績			令和2年度決算の比較			
	調停条項	予算額	決算額	予算との比較		調停条項との比較	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	106,880	120,000	122,222	2,222	1.9	15,342	14.4
営業利益	14,380	15,000	22,722	7,722	51.5	8,342	58.0
経常利益	12,719	12,108	24,122	12,014	99.2	11,403	89.7
当期純利益(※)	6,246	12,800	39,126	26,326	205.7	32,880	526.4
期末資金残高	84,560	110,682	109,017	▲1,665	▲1.5	24,457	28.9
純資産額	46,781	92,780	119,105	26,325	28.4	72,324	154.6

(※)法人税等調整額を除いています。

法人税等調整額とは・・・税務上の益金、損金で算定される課税所得と企業会計上の収益、費用で算定される利益との差額を調整する会計処理のことをいいます。

2. 営業利益（本業利益）の比較



決算においては、すべての項目において、調停条項を大幅に上回りました。

調停条項、予算額ともに上回る予定となっています。

要因

箕面文化・交流センターの利用料金収入が新型コロナウイルスの影響で減収となりましたが、上半期に営利団体の長期利用があったことや、感染拡大防止のための一時的な休館により販売管理費等が抑えられたため。

3.貸借対照表

(単位:千円・%)

	令和元年度		令和2年度		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
資産合計	574,777	100.0	557,420	100.0	▲17,357
流動資産	118,780	20.7	125,393	22.5	6,613
固定資産	455,997	79.3	432,027	77.5	▲23,970
有形固定資産	435,144	95.4	416,805	96.4	▲18,339
無形固定資産	296	0.1	296	0.1	0
投資その他の資産	20,557	4.5	14,926	3.5	▲5,631
負債合計	483,096	84.0	432,244	77.5	▲50,852
流動負債	29,703	6.1	25,385	5.9	▲4,318
固定負債	453,393	93.9	406,859	94.1	▲46,534
純資産	91,681	16.0	125,176	22.5	33,495
純資産(繰延税金資産除く)	79,979	—	119,105	—	39,126

参考１：経営内容を判断するポイント

■ 貸借対照表や損益計算書で経営判断することも必要ですが、新たな投資や臨時的な支出に大きく左右されます。

★調停条項の着実な履行を判断するポイント

- ① 期末にどれだけの資金残高があるのか
- ② 純資産額が増加しているのか

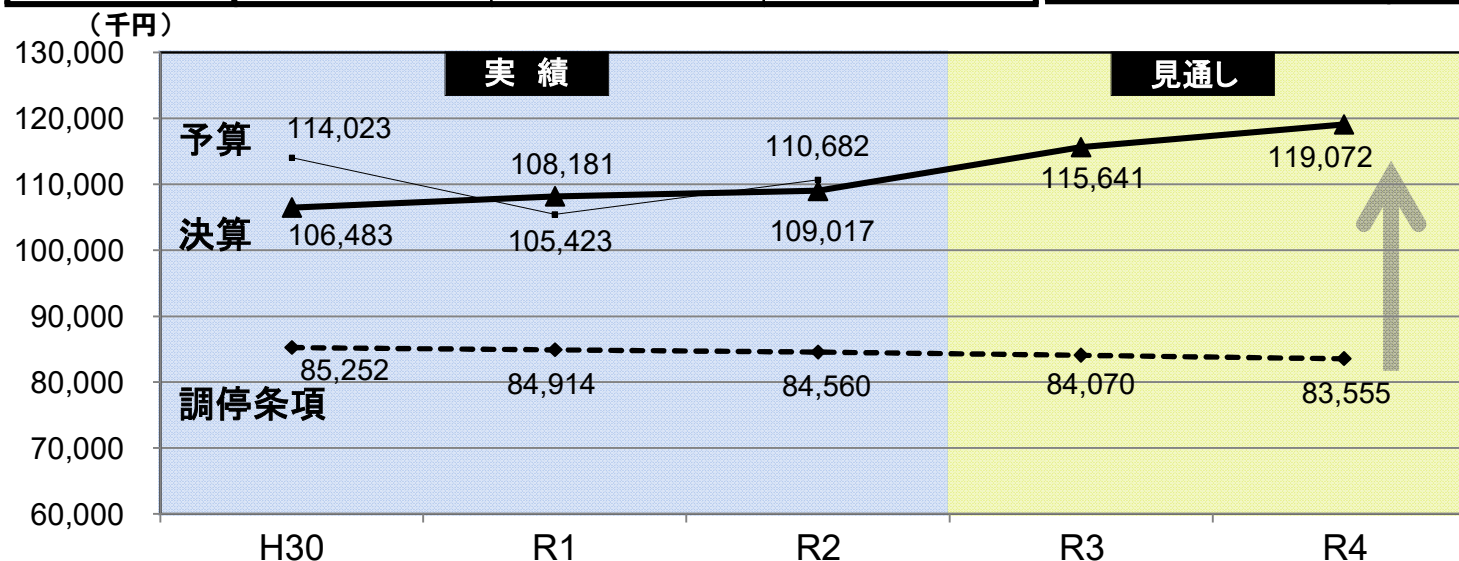
.....➡ 資金計画で判断することが適切

参考２：資金計画の見込み

（１）期末資金残高の推移

（単位：千円）

	各年度の予算・決算実績				令和3年度	令和4年度
	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
調停条項	85,252	84,914	84,560	調停条項	84,070	83,555
予算	114,023	105,423	110,682	今後の見通し 令和2年度決算による	115,641	119,072
決算	106,483	108,181	109,017			



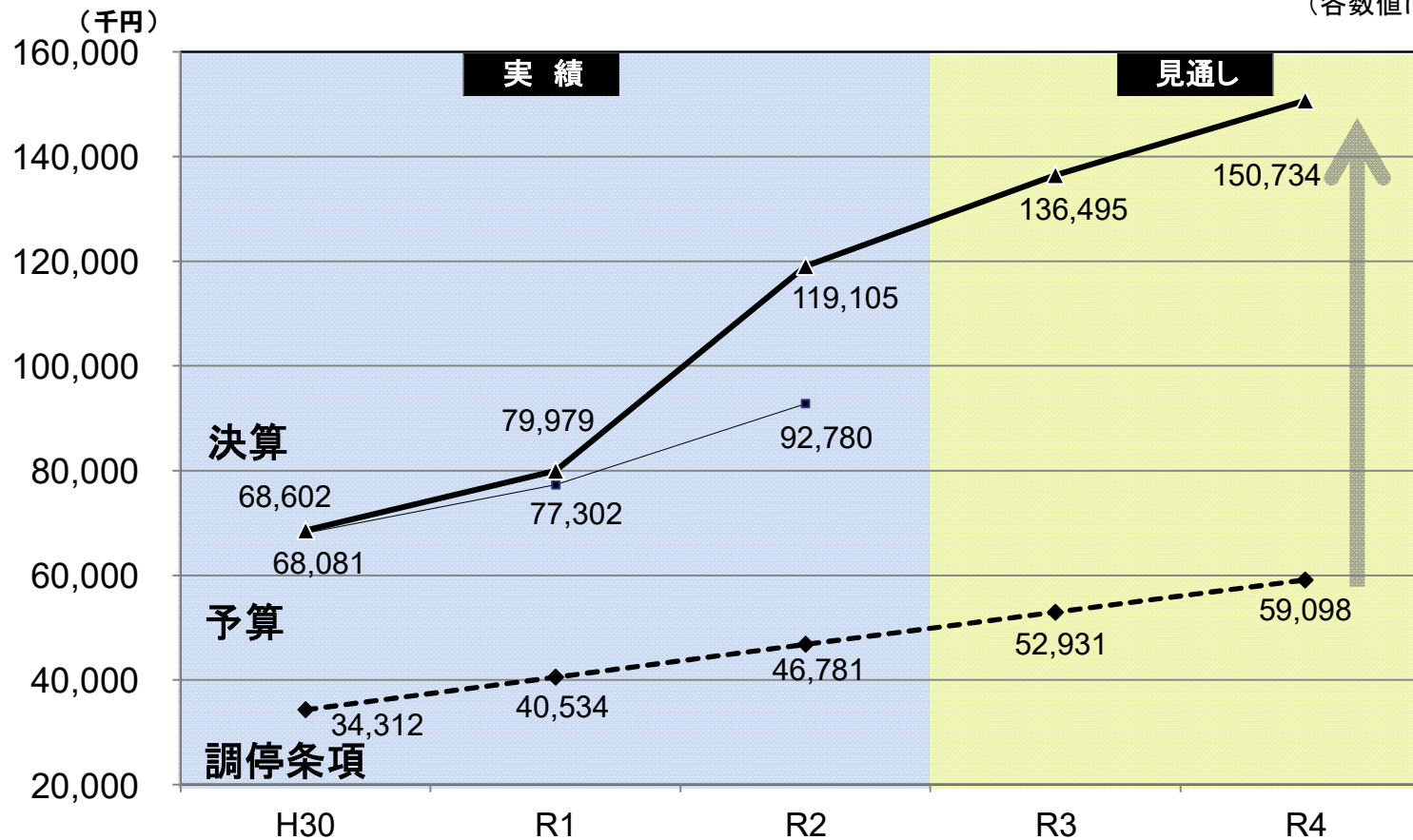
1 2 期連続で調停条項の推定推移を上回る予定です。

(2) 純資産額の推移

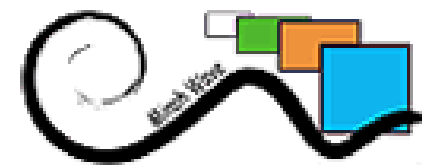
(単位:千円)

	各年度の予算・決算実績				令和3年度	令和4年度
	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
調停条項	34,312	40,534	46,781	調停条項	52,931	59,098
予算	68,081	77,302	92,780	今後の見通し 令和2年度決算による	136,495	150,734
決算	68,602	79,979	119,105			

(各数値は繰延税金資産を除いています)



調停条項の想定推移を大幅に上回る予定です。



萬面都市開発株式会社

令和3年度

予 算

1. 令和3年度予算と調停条項

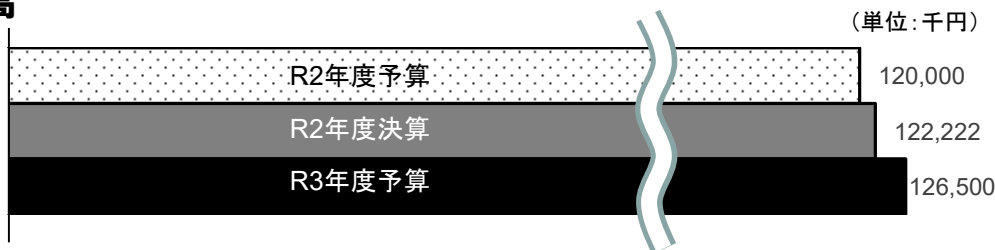
(単位:千円・%)

	調停条項 (令和4年3月期)		令和2年度 予算		令和3年度 予算		令和3年度予算の比較	
	金額	売上高 利益率	金額	売上高 利益率	金額	売上高 利益率	調停条項との 増減率	令和2年度 予算との増減率
売上高	106,074	—	120,000	—	126,500	—	19.3	5.4
受託料収入	64,990	—	77,633	—	81,309	—	25.1	4.7
所有床賃貸収入	9,000	—	8,651	—	7,378	—	▲18.0	▲14.7
土地賃貸収入	21,600	—	23,580	—	25,008	—	15.8	6.1
受取手数料収入	1,900	—	2,389	—	2,355	—	23.9	▲1.4
文化・交流C売上	8,584	—	7,747	—	10,450	—	21.7	34.9
営業利益	14,164	13.4	15,000	12.5	20,500	16.2	44.7	36.7
経常利益	12,544	11.8	12,108	10.1	17,810	14.1	42.0	47.1
当期純利益	—	—	—	—	—	—	—	—
当期純利益 (法人税等調整額除く)	6,150	5.8	12,800	10.7	17,390	13.7	182.8	35.9

2. 売上高・利益の推移

- 令和2年度決算においては全ての利益とも令和2年度予算を上回りました。また、営業利益の大幅な増加は、予算を上回る売上があったことや、販売管理費の減少によるものです。
- 令和3年度予算において、令和2年度決算と比較すると、売上高は受託料、地代の値上げによる増収の見込みです。
- また、令和2年度決算において、減資や土地売却による欠損金繰越控除制度の活用により法人税等が減少したため純利益は増加しました。
- 経営内容の判断指標である期末資金残高や純資産額は、順調に増加推移する予定です。(6・7頁参照)

■売上高

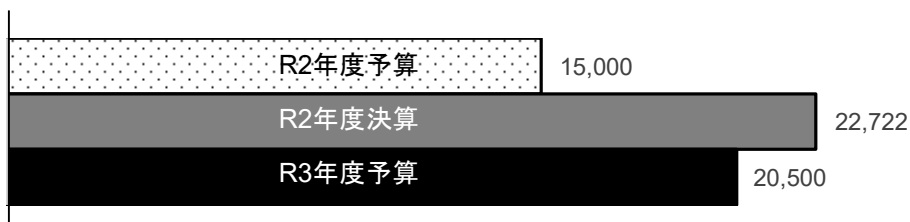


R2予算とR3予算の比較・主な要因

前年比5.4%増

- 土地賃貸収入の増加、交流センター利用料収入及び受託料収入の増収による

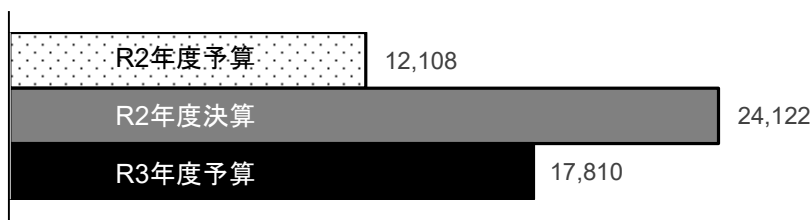
■営業利益



前年比36.7%増

- 売上高の増加及び販売管理経費の減少による

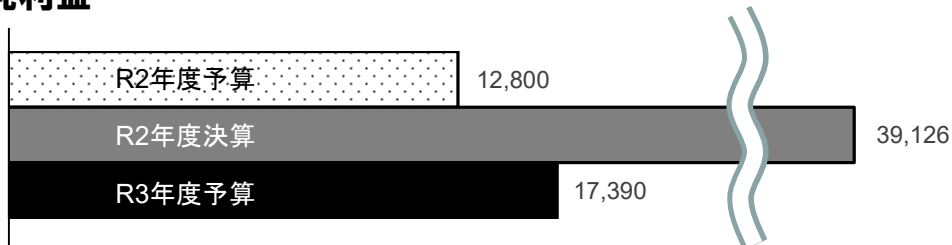
■経常利益



前年比47.1%増

- 営業利益の増益による

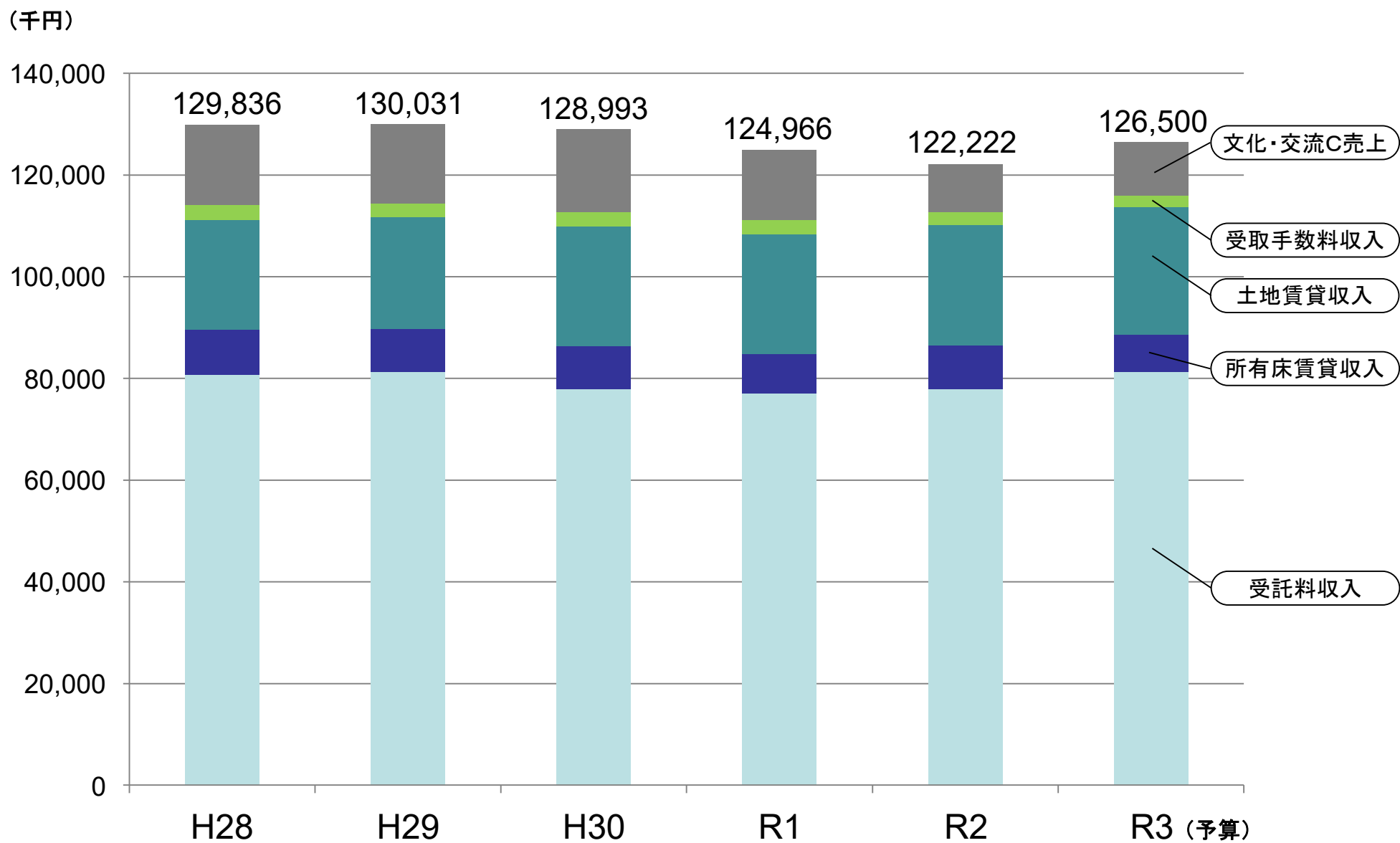
■当期純利益



前年比35.9%増

- 土地売却による欠損金繰越控除制度の活用等に伴う法人税額の減少による

参考1：事業別売上高の推移



参考2：売上高増減の主な要因

